

(平成17年度事業)

施策名 (小項目)	環境保全	コード	担当課	環境課
		01-02-01	電話	64-1822

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	自然と共存するまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	環境問題をめぐる状況は、近年特に多様化、複雑化しているが、本市では依然として大気汚染、水質汚濁といった従来型の公害が問題となるケースが多いことから、大気環境測定等を実施するとともに、工場・事業場への立入検査・指導、環境パトロール等を実施する。また、地球温暖化対策等についても、温室効果ガス排出量の削減を目指す。	
② 市民ニーズ (反応、問合せ等)	市民の要請で、水質・騒音・振動・悪臭等について原因を調査する。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	大量生産・大量消費・大量廃棄型社会による環境破壊は、大気汚染、水質汚濁、酸性雨、地球温暖化現象、オゾン層の破壊といった現象として現れている。これら環境問題に取り組むには市民一人ひとりの日常生活や事業者の事業活動の中で、それぞれが環境に対する責任と役割を理解し、資源やエネルギーの効率的な利用による循環型社会の構築や自然環境の保全が重要となっている。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 大気については、常時監視を行い、工場等の協力を得て汚染物質等の排出抑制を図る。 水質については、海・池・河川の29箇所を調査を行っており、汚濁の状況を監視する。 騒音・振動については、発生源となる工場等に規制基準等を遵守するとともに、一般環境の中で騒音の状況を監視する。 悪臭については、規制区域ごとにそれぞれ基準を設けて規制している 温室効果ガスについては、環境と経済の好循環のまちづくり事業モデル事業を推進することにより、温室効果ガス排出量の削減に努める。 	

⑥ 施策構成事務事業の評価		担当課長評価				
施策を構成する事務事業名 ()はその人件費(単位:千円)	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	直接事業費(単位:千円)			優先 順位 (A~C)
			17年度 事業費			
1 大気汚染防止事業 (5,150)	B	測定機器管理事業	127,312			
		大気汚染監視事業	7,308			A
		予報及び緊急時措置事業	1,241			A
		ばい煙発生施設等把握事業	0			B
		気象把握事業	0			B
		測定機器整備事業	0			C
		環境改善施設等整備助成事業	10,271			B
		公害防止対策指導事業	485			A
		公害一般苦情処理事業	0			B
		公害一般苦情処理事業	235			C
2 水質汚濁防止事業(備前) (15,890)	B	水質汚濁監視事業	2,714			A
		測定機器整備事業	0			C
		休廃止鉱山鉱害防止事業	103,395			A
		金剛川浄化対策協議会負担金	820			B
		岡山三川水質汚濁防止協議会負担金	10			C
		公害防止対策指導事業	0			B
		公害一般苦情処理事業	0			C
3 水質汚濁防止事業(吉永) (2,510)	B	水質汚濁監視事業	598			A
		測定機器整備事業	0			A

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17		
	171,785		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
市民	野焼きの禁止	市民の自覚と協力が不可欠である

⑧ 施策の評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い				
	項目	一次評価		二次評価	
		評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	4	適正な事業実施ができています	3	指標がないため、どちらともいえない	
2 事業構成の適当性	3	妥当である	3	同左	
3 施策の有効性	4	環境保全のため必須の事業である	3	指標がないため、どちらともいえない	
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示		休廃止鉱山鉱害防止事業の坑水処理は、半永久的な事業であり効率のよい処理方法が求められる。また、櫻銀井谷鉱山の鉱害防止工事は施工方法・中止を含め検討が必要である。		大気、水質に係る指標(環境基準への適合率)を設定してください 市民意識調査結果を指標に加えてください(参考1に追加)	
担当部長コメント		環境問題は、深刻な問題となってきたが、本市としての責任を果たすべく、個々の問題に粘り強く対応するほかない。今後は、合併によって地域間格差があれば、速やかに解消することを望む。			

⑤ 施策成果指標の検討・設定(基本目標・基本施策・施策意図から検討する)

意図・推進内容のキーワード	考えられる施策成果指標名	順位
市内公共施設の排出量	CO2の排出量	1
環境保全	騒音、大気汚染などの公害に悩まされている市民の割合	

施策に対する 成果指標名	単位	評価年度 H17	目標値		ベンチ マーク	指標の説明
			H23	H28		
1 CO2の排出量	目標		13,900	13,800		
	実績	t	14,501.0			
	達成率	%	#DIV/0!			
参考1 騒音、大気汚染などの公害に悩まされている市民の割合	目標	%	23.3			市民意識調査結果
	実績	%				
	達成率	%	#DIV/0!			
参考2	目標	件				
	実績	件				
	達成率	%	#DIV/0!			
参考3	目標	件				
	実績	件				
	達成率	%	#DIV/0!			

市民意識 調査結果	施策名	調査年度		H18	H19	H20	H21	H22
		重要だと思っている市民の割合	%	20.8				
	環境保全	満足している市民の割合	%	14.0				

